

中学生保護者の皆様へ

## 中津川工業高等学校への進学のおすすめ



校訓

誠実信頼



Homepage <http://school.gifu-net.ed.jp/nakatgawa-ths/>

## 将来へ向けての4つの期待

### 「技術者・職人の道」を目指すために

資源の乏しい日本は、「技術立国」としてめざましい発展を遂げてきました。しかし、価格破壊や高騰する人件費を抑制するために、製造拠点を海外に移転する企業が増えました。それと同時に「技術の国外流失」も加速し、将来の日本を支える技術者や職人の後継者育成に本腰を入れ始めた企業も少なくありません。また製造業のみならずライフラインを支える電気や鉄道、サービス業などでも、技術者や職人とよばれる日本を支える人材の育成が不可欠です。

お子さんが将来の職業として、「日本や世界を支える技術者」となることが期待できます。

### 様々な体験をとおして「生きる力」を身につけるために

高校時代の10代後半は、精神的にも肉体的にも大きく変化をする年齢です。多くの生徒が親離れをするときでもあります。同時に子離れが必要なときでもあります。やがて訪れる成人としての独り立ちの準備期間といっても過言ではないかと思えます。

生活習慣、マナーや思いやりの気持、人と協調する心、部活動や体育祭など諸活動で養われる強かな精神力などが、学校生活全般をとおして知らず知らずのうちに身につけてきます。これら社会に出て生きていく上で必要な力が育まれることが期待できます。

### 専門力を基礎として「大学へ進学」するために

高校進学は、お子さんやご家族にとって大きな決断を迫られるときです。子どもの数が減少傾向にある中、大学進学の門戸は広がり、最近の高学歴志向と相まって多くの高校生が上級学校への進学を目指しています。そのためか「普通科志向」が強まっているように思われますが、工業高校から上級学校への進学が必ずしも不利なわけではありません。確かに普通科高校に比べ、専門高校で学習する共通の科目（国語、数学、社会、英語など）の授業時間数は少なく、大学入学当初は苦勞しますが、学年が上がるにつれて、工学等の専門を深めたり研究テーマを設定するときなどには、高校時代に学習した専門科目や実習などで培った力が有効に働くことが多くあります。

将来「工学を学びたい」「技術者を目指したい」という志をお子さんが持っているのなら、本校から大学への進学が期待できます。

### 30年先を見据え「活力ある地域づくり」のために

この地域の子どもの数は減少の一途をたどっています。一部の地域を除いて小中学校のクラス数が激減しています。後継者となる若者が、地元になすぎることが原因の一つです。反面、高齢者だけで暮らす世帯は増加の一途をたどり、地域のお祭りや行事、消防団活動など支障が出ています。「かわいい子には旅を・・・」「他人の飯を・・・」子どもの将来を考えて、子に良かれと思ひ遠くへ出した結果、地域の活力が失われ、30年後に老夫婦だけが残されてしまいます。現在、保護者の皆さんは健康でお暮らしのことと思ひますが、必ず子どもが頼りとなる時がやってきます。

30年先を見据えながら、地域に貢献できる人材を育てるためにも本校への進学をすすめます。幸い地元には多くの企業があり、毎年多くの生徒が地元企業へ就職をしています。本校からの就職は心配無用です。将来お子さんが本校を卒業して、地元で活躍されることが期待できます。

# 岐阜県立中津川工業高等学校の教育方針

## ○ 校 訓 誠 実 信 頼

## ○ 教育方針

中津川工業高等学校は、昭和19年、中津町実戸に開校されました。当初は土木科と建築科だけでしたが、昭和38年に機械科と電気科が設置されて4学科となり、翌昭和39年現在地に移転しました。昭和62年、県内の先頭を切って「電子機械科」が新設され、また土木科、建築科を統合して「建設工学科」が設置され、**地域における工業教育の中心校**として現在に至っています。これまでに、8,693名の卒業生が社会に巣立ち、岐阜県内及び東海地区はもちろんのこと広く全国で**工業技術者として活躍**しています。

こういった産業界からの期待に応えるため、心豊かな社会人、産業界の技術者の育成を目指し、次の教育方針を掲げています。

### 1 明朗で健康な心身を育成する

健康にして明朗、友愛に満ちた教養ある社会人となるべき資質を養う。

### 2 自主創造性の伸長をはかる

自主性・創造性を発揮する。

### 3 誠実で勤労を愛する態度を養う

工業に関する知識、技能に習熟し、勤労を尊び、誠意を持ってことにあたる産業界の技術者を養成する。

### 4 自然を愛する豊かな心を育てる

生命を尊重する心や規範意識を養う。

## ○ 本校では下記のような具体的な目標を持って教育を行っています。

### 1 中学校から高校へのつながりを大切にした授業展開

着実に基礎学力を養成するために、数学、理科、英語において少人数授業を行っています。また始業前の時間を利用して、基礎を固める学習や資格取得に向けた指導などを行っています。

### 2 社会人として必要な力をつける学校生活

挨拶をはじめとするコミュニケーション能力、協調性や思いやりの心、部活動や資格取得を目指し継続した取り組みで味わう達成感や充実感など、3年間の学校生活をとおして育み、社会人として成長できる指導を行っています。

### 3 将来の夢や希望を実現する進路指導

インターンシップや社会見学で自ら体験したり、卒業生や企業人の講話など外部の教育力を活用して、学年に応じたキャリア教育を進めています。また選択授業では、進路に合わせた学習内容を選ぶことができ、進学希望者には授業とは別に進学指導を行っています。

### 4 生徒に軸足を置いた生徒指導

厳しさと優しさの両面を持って「普通のことを普通に、当たり前のことを当たり前」実行させることを主眼において、高校生としての成長を促し、豊かな人間関係を育成する指導を行っています。

### 5 地域に貢献する人づくり

学校で学んだ専門的な知識、技術や技能を生かした地域への貢献活動を積極的に行い、地域の方々との交流を深めています。将来の生活拠点で地域社会を支え活躍できる人材の育成を行っています。